



PURPOSE 「企業の未来を支えていく。日本を変化につよくなる。」

の実現に向けて、企業理念体系を改訂するとともに、役職員が共有する価値観と行動の原点となる「CHUKIN Way」を、2024年10月に策定しました。

「倫理憲章・コンプライアンス行動基準」によるコンプライアンスの遵守を全ての土台と位置づけ、行動の原点「CHUKIN Way」をもとに「MISSION」を遂行し、「PURPOSE」の実現を目指していきます。

CONTENTS

トップメッセージ	1	自己資本の充実の状況等	49
長期戦略の骨子	2	中小企業の経営の改善及び	
財務ハイライト	4	地域の活性化のための取組みの状況	112
財務データ	6	店舗等一覧	114

変革のスタートライン

～中小企業経済圏の拡大・活性化に向けて～

■ 変革のスタートライン

皆さまには、平素より格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。

2025年6月の政府保有株式の全部売却完了と改正商工中金法の施行により、商工中金は民営化という大きな転機を迎えました。

この民営化により、商工中金は、ようやく中小企業の課題解決に注力できる態勢が整ったと考えています。しかしながらこれはゴールではなく、変革のスタートラインです。今後も「中小企業による中小企業のための金融機関」として、お客さまと真摯に向き合い、自らの変革を続けてまいります。

■ 長期戦略でさらなる変革のステージへ

商工中金グループは、「企業の未来を支えていく。日本を変化につよくなる。」というPURPOSEのもと、これからの10年を見据えた企業変革に取り組んでいます。

この企業変革にあたり、まずは私たちがどのような存在として価値を提供し、PURPOSEを実現していくべきかという観点から、「商工中金グループのありたい姿」の議論を重ね、長期戦略の骨子を策定しました。長期戦略の核となる概念は、中小企業を「個社」として捉えるのではなく、中小企業と多様なステークホルダーを含めた「集合体」として捉える「中小企業経済圏」です。商工中金は金融機関の枠を超えて「集めて・つなげて・価値を創る」プロデューサーの役割を果たし、この中小企業経済圏参加者の価値向上に貢献し続けることを目指します。

また、「ありたい姿」の実現度合いを可視化するため、経済的価値だけでなく社会的・人的価値も含め、中小企業と多様なステークホルダーとの包括的な価値共創を測る指標として新たに「SCV (Shokochukin Co-Creation Value)」を導入予定です。今後はこのSCVを経営の指針とし、持続的な企業価値向上を目指してまいります。

▷長期戦略の骨子の詳細はp.2

■ 中小企業経済圏の拡大・活性化に向けて

2025年度上半期のわが国経済は、個人消費の緩やかな回復やインバウンド需要は好調であった一方で、物価や賃金上昇、金利のある世界への移

行、米国の通商政策、AI・ロボティクス技術の急速な進化等、日本経済を取り巻く環境が大きく変化しました。

中小企業はこうした環境変化の影響を受けやすく、経営資源にも限りがあるため、新たな挑戦やリスクテイクへ慎重になりがちですが、独自の技術や高い生産性で成長を遂げる企業も存在します。そうした中小企業の可能性を最大限に引き出すことは、変化につよい社会の実現につながると考えています。

このような中小企業の環境も踏まえ、これまで中小企業とのお取引を通じて培ってきた強みを活かしつつ、これまで以上に中小企業の成長支援に取り組むため、新たに「Industry (産業課題解決)」「Innovation (スタートアップ支援)」「Investment (エクイティ業務等)」「Traditional Banking (伝統的銀行業務の深化)」「Turn Around (再生支援)」の5つの注力分野を決定いたしました。これらの分野への注力を通して、中小企業経済圏の拡大・活性化へ取り組んでまいります。

■ むすびに

商工中金は本年12月に創立90周年を迎えます。これまでご支援いただいた様々なステークホルダーの皆さまに、この場を借りて心より感謝申し上げますとともに、今後とも商工中金をご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

2026年1月
株式会社 商工組合中央金庫
代表取締役社長 グループCEO
関根 正裕

